

FUJITSUファミリ会をもっと楽しく活用していただくための様々な情報をご提供します。

FUJITSUファミリ会

2024年度 秋季大会

会員の皆さまによるネットワーキングと
会員間のつながりによる価値創出

2024
60th
アニバーサリー

10/24 木 ~ 25 金

FUJITSUファミリ会では、2024年度秋季大会を以下の通り開催いたします。今年度は、創立60周年という節目となる記念すべき大会となります。「会員の皆さまによるネットワーキングと会員間のつながりによる価値創出」を目的に、様々な分野の有識者による、基調講演、パネルディスカッションを予定しているほか、事業課題の解決に必要な情報収集、知見獲得の場として、技術展示をご用意いたします。

開催日程

2024年10月24日(木)～10月25日(金)

開催場所

グランドメルキュール札幌 大通公園 (予定)

<https://grand-mercure-sapporo-odoripark.jp/>
北海道札幌市中央区北1条西11丁目1番地1

開催形式

現地開催 (+オンラインのハイブリッド)

・現地参加募集人数: 会員 約600名、富士通社員 約200名 (予定)

スケジュール

■1日目/10月24日(木) 13:00～19:00

・主なプログラム

- 1) オープニング／開会挨拶
- 2) 基調講演
- 3) パネルディスカッション
- 4) テーマ別セッション
- 5) 技術展示

・懇親会

■2日目/10月25日(金)

・オプションプログラム

大通公園



お申し込みはこちらから▶



■1日目/10月24日(木) 13:00～19:00

全体セッション (変更の可能性あり)

時間	プログラム	概要
13:00～13:20	オープニング／開会挨拶	・主催者挨拶 ・来賓挨拶 ・富士通挨拶
13:30～15:10	基調講演	SX領域におけるAI活用を中心に、ファミリ会テーマの4要素を網羅した講演+ 開催地のゲスト講演
15:10～15:40	パネルディスカッション	サステナブル・トランスフォーメーションに関する喫緊の課題にフォーカス ～ SX × 地域課題 × AI～

テーマ別セッション (変更の可能性あり)

時間	プログラム				
15:50～ 16:50	セッション1 先進テクノロジー追従 (AI)	セッション2 2025年の崖 (モダナイゼーション)	セッション3 SDGs (SCM)	セッション4 2023年度LS研最優秀研究賞成果報告	15:10～ 技術展示 AI技術の活用事例、支部取り組み成果発表 (デザイン思考を活用したビジネス創出活動) など
16:55～ 17:55	セッション5 人財開発 (DX人財育成)	セッション6 2024年問題	セッション7 地域DXプロデュース		
18:10～ 19:00	懇親会 (参加費要)				

■2日目/10月25日(金)

オプションプログラム (参加費要) ※調整中: 内容が確定次第お伝えします。

2024年度 全国広報担当会議開催

2024.6.27 | オンライン

FUJITSUファミリー会広報活動の継続的な改善に向けて、例年、全国各支部の広報担当幹事が集まり開催している全国広報担当会議。

今回は、2024年度ファミリー会活動、および認知度向上WGについてご案内するとともに「地域からの情報発信」をテーマにディスカッションを行いました。当日の様子をレポートいたします。

ご出席いただいた皆さま

北海道支部	(株)ノベルズ 宮部 真利子幹事
東北支部	(株)青森共同計算センター 太田 聡幹事
北陸支部	(株)くみあい電算センター 窪田 勝則幹事
関東支部	FITEC (株) 田中 聡幹事
東海支部	(株)アドテクニカ 下村 聡幹事
関西支部	綾羽 (株) 山本 敬生幹事
中国支部	(株)中国新聞システム開発 上田 久志幹事

編集委員長	(株)エムエムインターナショナル 山宿 信也氏
編集委員	(株)ITAGE 長嶺 博美氏
編集委員	FITEC (株) 星 さゆり氏
広報担当理事	日本通運 (株) 大林 孝至氏

■ 2024年度ファミリー会活動、および認知度向上WGのご案内

冒頭、大林常任理事より、以下のようなご報告がありました。(★は本誌p3～5参照)

- ・ファミリー会のあるべき姿とは★
- ・会則記載の会の目的と3本柱の見直し★
- ・あるべき姿に向けた2024年度活動★
- ・2024年度コミュニティの考え方
- ・認知度向上WGについて★
- ・認知度向上WGの目的／役割／2024年度の目標

中でも、会の目的変更に伴い更新された新しい3本柱【コミュニティ活動／人財育成／情報収集】のうち、新しい柱である【コミュニティ活動】の考え方、認知度向上WGの目的・役割・2024年度目標について丁寧にご説明いただきました。

■ 認知度向上WGの目的・役割

活動情報の発信強化	新方針(あるべき姿)の周知
<p>会員数が年々減少すると共に、会員の行事参加率が約50% (半数が休眠会員)</p> <p>原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 良い取り組みを行っているのに、活動内容が会員企業、団体の方々に届いていない ● ファミリー会非会員にも情報が届けば新規入会も増えるのでは <p>※昨年6月の各支部意見交換会でのご意見</p>	<p>変革への取り組みやその内容を会員だけでなく非会員、富士通社内へ周知が必要。</p> <p>中心となる施策</p> <p>ファミリー会公開サイトを刷新し、以下のイメージを周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ICT 起点から「こと」 起点へ ● 会則(会の目的)や会の名称変更 ● 新たな価値(コミュニティ活動など)

WGの役割

1. 新方針、事業企画委員会で立案の方向性や企画などを会員、富士通社内へ周知
2. 既存の会員企業の課題解決の取り組みなどを会員、富士通社内、非会員へ情報発信
3. ブランド検討WGで企画されたVI(ビジュアルアイデンティティ)をもとに情報発信
4. 情報発信について、発信とあわせて発信の効果測定および課題などを検討し、効果を上げる取り組みを行う(情報発信手段の拡大)

目標 2024年度のゴール「ファミリー会のエンゲージメント向上」

「休眠会員の参加者を増やす」(内向き) ▶ 「新規会員が増える」「脱会が減る」
「会員以外にファミリー会を知っていただく活動をする」(外向き) ▶ 「新規会員が増える」

- 非会員にも価値が伝わり新規会員が増える
- 休眠会員にファミリー会の価値を知っていただき、参加してもらう
→ 休眠会員から脱会につながるので、脱会が減る

■ディスカッション：テーマ「地域からの情報発信」

続く意見交換会では、企業における課題や、関心のある社会課題、またそれら課題の解決事例に対する情報収集について議論しました。

ご意見例

- 環境問題や少子化、貧困問題など様々な課題がある。例えば災害が起きた時に、互いにどんな支援ができるかをデータベース化して、各会員企業で共有しておけば、有事の際に助け合えるのではないかな。また、日頃から自治体との関係性を構築しておく、ファミリー会として地域貢献がしやすい。様々な課題に関して、それぞれの企業が自分の会社が何ができるか整理しておく必要がある。
- 人事、労務関係で非常に苦労している。採用難から始まり、世代間コミュニケーションのためイベントや、飲コミュニケーションなどで打開しようとするが、個人の価値観が多様化したことで、個々の距離感も多岐にわたり、平準化することが難しくなっている。個人に寄り添えるよう就業規則を見直し福利厚生も充実させたり、副業を解禁したり、ご家族の介護などと両立できる柔軟な働き方ができるような仕組みを作ったりと対応しているが、退職者をゼロにすることができない。
- 何年も前から直面してる課題だが、離職する人材が多い点が改善されずにいる。新卒採用となるとコストが高くなるので、いかに退職させないかに重点を置くべきだと考えている。その点においては、ファミリー会のエンゲージメントを高めようとする取り組みが各社の課題と似ており、寄り添っていると感じている。

山宿編集委員長より

新しいファミリー会に変わるにあたって、社会課題の解決が、1つの大きなテーマになってくる。今後、どの課題にどのように取り組んでいくかが、鍵となるだろう。課題はあるが、これを解決する手段がない、解決してくれそうなパートナー企業も見つからない、といった声を聞くことがある。ファミリー会を上手く使えば、課題と解決方法のマッチングのようなことができるのではないかと昔から考えており、そのような価値の高いコミュニティ活動にしていきたいと思っている。

会報Family 冊子版提供終了のお知らせ

創立以来、冊子版にてFUJITSU ファミリー会の活動や最新情報をお届けしてまいりました会報Familyですが、より多くの会員企業様にご購読いただけるよう、2年前よりWeb上での電子版もあわせて提供開始いたしました。この度、さらなる情報発信の強化を目指し、本号(第414号)を以て冊子版の配布を終了し、電子版への完全移行とさせていただきます。今後とも、会報Familyは魅力的なコンテンツを充実させ、皆さまに有益な情報をお届けしてまいります。引き続き、会報Familyをご愛読賜りますようお願い申し上げます。

NEW FAMILY

(4～7月度ご入会分)

- | | | | |
|------|--------------------------------|------|-------------------------------|
| ■ 東北 | (株) デンソーFA山形 | ■ 東海 | 中菱エンジニアリング(株) |
| ■ 関東 | (株) トヨタカスタマイジング
& ディベロップメント | | はごろもフーズ(株) |
| | 日本精工(株) | ■ 関西 | モリト(株) |
| | 大日本土木(株) | | (株) G-Place |
| | なないろ生命保険(株) | | (株) シュゼット・ホールディングス |
| | (株) ティーズコンサルティング | | 学校法人同志社 同志社大学 |
| | (株) JMUシステムズ 横浜本社 | | 日本ハムシステムソリューションズ(株) |
| | ニチレキ(株) | | (株) オプテージ |
| | (株) SDS バイオテック | ■ 中国 | (株) JMUシステムズ呉センター |
| | (株) クラステクノロジー | ■ 四国 | (株) 徳島データサービス |
| | FLCS(株) 神奈川支店 | | 高松短期大学 |
| ■ 信越 | (株) ネスティ | ■ 九州 | エムシーエー(株) |
| | | | (株) 麻生 |
| | | | YONEFU International Group(株) |